

第176回(9月)定例会一般質問通告書

順番	14	氏名	金城 善英	質問方式	括 一問一答(事項別 要旨別)	質問の要旨	答弁者
1	子育て支援について					<p>平成24年8月、日本の子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決するために、「子ども・子育て支援法」という法律ができました。この法律と、関連する法律に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が、明年、平成27年4月に本格スタートします。そこで、幼稚園と保育所のいじごころを一つにした「認定こども園」の普及を図る取り組みについて</p> <p>(1) 保育の場を増やし、待機児童を減らして、子育てしやすい、働きやすい社会にする取り組みについて</p> <p>(2) 幼児期の学校教育や保育、地域の様々な子育て支援の量や質の向上を進めるための取り組みについて</p> <p>(3) 子どもが減ってきている地域の子育てもしっかりと支援する取り組みについて</p> <p>(4) 新制度スタート後、利用者や施設・事業者は、それぞれどのような対応や手続きがあるのか。</p> <p>(5) 県内の幼稚園は戦後の歴史的な背景から80%以上が公立幼稚園で、全て小学校と併設であります。新制度スタートが公立幼稚園に及ぼす影響はあるか、また公立幼稚園の午後の保育はどうなるのか。</p> <p>(6) 幼児教育の無償化について</p> <p>(7) 今年、平成26年6月診療分から、子ども医療費の自動償還払い方式がスタートしました。</p> <p>ア これまでの取組みと課題について イ 自動償還払い方式がひとり親世帯に適用されないことについて</p>	

質問の事項	質問の要旨	答弁者
2 視覚障がい者支援について	<p>(9) 児童センターの老朽化について (10) 給食費の無料化の拡充について</p> <p>視覚障がい者の「見えにくい生活」を支援するNPO法人ロービジョンセンターで開催された「アイフェスタ in 名護」が去る7月26日に名護市労働福祉センターで開催されました。そこでは、視覚障がい者の生活をより便利にする文字拡大読書機の据え置き型や携帯型、その他文具など多くの福祉機器が展示されておりました。初の北部での開催でありましたが、視覚障がい者や見えにくいで日常的に不自由な思いをされている方々にとつては、希望の光になつたのではないかと思います。そこで、本市の視覚障がい者に対する支援について</p>	
3 発達障がい児支援について	<p>(1) 本市の学校教育における視覚障がい者用福祉用具やタブレット端末利用による学習支援について</p> <p>(2) 本市の発達障がい児の現状と対応について</p>	
4 大西緑地の再整備について	<p>(1) 本市の発達障がい児の現状と対応について</p> <p>(2) 学校側のご要望をしつかりと受け止めて、子どもたちの平和学習、自然環境学習、地域の方々とのコミュニケーションの場所としての活用ができるのか。</p>	

質問の事項	質問の要旨	答弁者
5 スポーツ振興について	去った6月24日に名護市学童軟式野球部保護者関係者で、北海道日本ハムファイターズ球団関連学童軟式野球大会派遣機会要望の申し入れをしました。2日後の6月26日には、北海道日本ハムファイターズ応援ツアーリーに参加されるということで、皆で福嶺進市長（北海道日本ハムファイターズ名護協力会会长）を後押ししようと保護者の熱い想いを伝えました。そこで、北海道日本ハムファイターズ関連学童軟式野球大会県外派遣交流についての取組み状況について	
6 名護市葬斎場について	(1) 名護市葬斎場の改築について (2) 名座喜原墓園の駐車場周辺の管理について	
7 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）の誘致について	(1) ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）の誘致に向けたの本市の取り組みについて	
8 鉄軌道導入について	(1) 鉄軌道導入に向けたの本市の取り組みについて	
9 県立名護高等学校のフロンティア科設置について	北部地域の進学の拠点校として、県立名護高等学校がこれまでの「特進クラス」をさらに進学を強化するとしてフロンティア科が平成27年度に設置されスタートします。そこで、県立名護高等学校のフロンティア科設置における名護市教育委員会の取り組みについて	(1)